

平成 2 5 年 度

# 事業報告書



e-Knowledge コンソーシアム四国



# はじめに

e-Knowledge コンソーシアム四国は次のステップへ

e-Knowledge コンソーシアム四国会長 藤井 宏史



本報告書は、平成 25 年度に e-Knowledge コンソーシアム四国 (略して eK4) で行われた主な事業とシンポジウム等の活動状況、ならびに、外部評価の結果をまとめたものです。

平成 25 年度の活動の特徴として、e-Learning コンテンツとして四国学 5 科目を連携大学の教養教育科目として提供したほか、学際的専門科目の提供は前年度に比べて 2 科目 (徳島大学提供科目) が増えて 6 科目となったことなどが挙げられます。また、四国学を通じて四国の魅力を全国に発信するという目的のために、ニュースレターを 4 回 (号外を含む)、メールマガジンを毎月発行しました。このように、コンテンツの開発と提供そして発信の実績を着実に積み上げたほか、平成 26 年度により充実した四国学や学際的専門科目を提供できるよう 11 回にわたって企画委員会を開催するなど準備に取り組みました。また、平成 24 年度の外部評価委員会でいただいたご意見を踏まえ、事業目的の明確化と絞り込みを行いました。

eK4 は、「地域に根差しつつ高い専門性をもつ人材育成」を目的とした活動を実施し、平成 20 年 10 月 20 日の設立以来、7 年目を迎えました。設立当初に比べると、ICT を取り巻く社会の状況は大きく変わっております。世の中にはスマートフォンを初めとする情報端末が溢れ、どこにいてもインターネット上の動画コンテンツを視聴できる高速無線ネットワークのインフラが整備されました。その結果、e-Learning の世界では、教材コンテンツを広く一般に公開するという動きが活発化しようとしています。従来のように、限られたユーザーだけが e-Learning で講義を受講していた時代から、誰でも受講できるオープンなコンテンツが公開される時代に移り変わろうとしているのです。2014 年は e-Learning の世界が大きく様変わりする可能性を秘めていると言えます。このような世の中の流れにあわせ、eK4 ではオープンコンテンツ化ワーキンググループを立ち上げ、最近の e-Learning における大きな潮流に向けた対策の検討を進めました。さらに、履修者の増加対策についてもワーキンググループを立ち上げ、今年度は課題点の洗い出しと対策を中心に議論を重ねて参りました。

eK4 では、世の中の動きに着目した活動を行っていく予定ですので、今後の活動にご注目いただけますようお願いいたします。



# 目次

はじめに	3
1 e-Knowledge コンソーシアム四国 事業背景	7
2 平成 25 年度 活動状況報告	15
2-1 平成 25 年度達成状況報告	17
2-2 事業報告シンポジウム	23
2-3 e-Learning による単位互換	49
2-4 委員会報告及び各種報告	69
2-5 広報関係	175
3 外部評価	185
4 平成 26 年度 事業実施計画	197
附録 関係規則等	201

